シェルバーン一族って何者？

下記は

「秘密結社　上」　ジョン・コールマン博士　大田龍監訳

リンク　より「シェリバーン（＝ウィリアム・ペティ）伯爵」について書かれている内容の引用です。

□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

シェルバーン伯爵は、英国情報部のトップであり、スパイの首領であり、ス**コティッシュ・ライトのフリーメーソンリーという過激な狂信主義思想を持つ秘密結社のトップ**だったのだ。

【ワン・ワールド陰謀、その首謀者の素顔】

これと関連して、フリーメーソンリーが果たしている極めて重要な役割を、もう一度見てみよう。アメリカのみならず、全世界で事件を生み出し、いわゆるワン・ワールド政府という社会を目指している。身分も高く「先祖伝来の遺産を継ぐ」立派なファミリーの心と意識と哲学を支配する、この陰謀の首謀者シェリバーン男爵とは、いったい何者だったのか。ボストン、ジュネーブ、ローザンヌ、ロンドン、ジェノバ、ベネチアなどに住み、アヘンと奴隷で信じられないほどの富を築いたファミリー、ウィリアム・ビット、マレット一族、シュルムベルガー一族のようなファミリーも含めて、シェルバーン伯爵は、その心と頭脳を支配しているのである。

（中略）

シェリバーンは何よりもまず、**スコティッシュ・ライトのフリーメーソンであり、イギリス、フランス、スイスのイエズス会と強いつながりを持っていた。**イギリス首相ウィリアム・ビットを操っていた以外にも、ダントン、マラーといったテロリストや、アーロン・バーに率いられた東部エスタブリッシュメントの裏切り者たち、イギリス東インド会社のスパイから経済学者になったアダム・スミス、その嘘っぱちで西側経済を破滅させたマルセスまでもが、シェルバーンの支配下にあった。このようにフリーメーソンのリーダーであった**シェルバーンは、１５世紀のルネッサンス以降に人類が享受した利益をすべて破壊し、キリストから授けられたキリスト教思想、合衆国憲法に示された社会政治理念や個人の自由という概念を裏切るのに、最も力を振るった人物**であった。要するに**シェルバーンは**ルネサンスを憎悪し、忌み嫌い、**一般大衆は自分達の階級に仕える為に存在しているという、特権思想を固く信じていた。**産業資本主義を憎み、封建制度を熱烈に支持していた。

さらに、同盟の父ウィリアム・ペティ伯爵が創設したロンドンの英国学士院が前身となって、王立国際問題研究所（RIIA）が生まれた。ニューヨークにあってアメリカの外交問題を操る外交問題評議会（CFR）もここから生まれた。

（中略）

フランス革命でのジャコバン党の悪行も同じようにシェルバーンが操っていた。

（「るいネット」）